

研究課題名 (研究番号)	胆膵疾患(総胆管結石や胆道癌・膵癌等)におけるERCPの有効性および合併症リスクについての後ろ向き検討(No)
当院の研究責任者(所属)	(消化器内科)
他の研究機関および各施設の研究責任者	熊本中央病院 (消化器内科部長) 済生会熊本病院 (消化器内科副部長)
本研究の目的	総胆管結石や胆道癌・膵癌などの胆膵疾患に対してERCP(内視鏡的逆行性膵胆管造影)を行った症例を対象にERCPの有効性(手技成功率、組織診断の正診率、ステント開存期間など)や偶発性のリスクを検証する。
調査データ 該当期間	2012年4月～2020年3月
研究の方法	<input type="checkbox"/> 対象となる患者さま 上記期間内に当院、熊本中央病院、済生会熊本病院の3施設で総胆管結石や胆道癌・膵癌などの胆膵疾患に対してERCP(内視鏡的逆行性膵胆管造影)の検査をされた方
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除いたします。研究成果を学会および論文投稿にて発表する場合にも、患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業はありません。
お問い合わせ先	研究責任者 消化器内科 分担責任者 消化器内科部長
備考	